



きらのお星通信

えぐち みのり
絵とことば 江口 真代

きらのもん星通信

= Correspondence form KIRANON star =

星空の片隅に、

「きののん星」という星があります。



天文博士

ある日、そのきらんの星の天文博士が、夜空の彼方に生物の住む星を見つけました。大発見です。「ぶらぶら星」と名付けて、すぐに親友の数学博士に相談しました。二人は、きらんの星のことを収めたスターディスクを作り、ぶらぶら星に向けて発射する壮大な計画を立てたのです。スターディスクには、「きき姫、花の椅子に座るの儀」「風のを聴く」「空の便りが届く」「双葉に腰掛ける」「蓮の葉の上」「秘密の相談」それと、「天文博士」「数学博士」の画像が収められました。



華の椅子に座するの儀

きらのん星では、医学の進歩のもと、人口は完全に管理され、寿命は 500 年を越え、滅多に人の死ぬことがありません。残念ながら死者のあった場合のみ、出生が認められるシステムのため、天星 1701 年、250 年ぶりに授かった女の子「きき姫」が、現在きらのん星で唯一の子供です。これは究極の少子化状態にあると言えるでしょう。姫の成長にまつわる儀式は全て人民全体の一番の関心事で、星をあげて盛大に祝っています。

「花の椅子に座るの儀」は、御歳 6 歳の学問始めの行事です。



空の便りが届く

きらんの星では、社会保障が行き届き、病気の不安や競争主義はありません。それぞれが好きなことを追求することを生きる力としているので、自然と学者が多くなります。

作物の必要な収穫高は栄養博士が算出し、植物の状態は植物博士によって細心の注意のもと最上の状態が保たれ、日々の天気は気象博士が最適の状態に調節しています。



風の便りを聞く

学者の中でも医学博士はもっとも多く、石を投げればあたると言われ、どれだけ初期に病の芽を発見し対処できるかによって、尊敬を集めます。老化に対する研究は現在ほぼ確立され、年を取ることにに対する不安ありません。事件らしい事件は滅多に起きず、ニュースは風の声を聴いて知ることになります。



双葉の上に腰掛けて

そして、人と話をするときは植物の葉の上に座る習わし
があります。

嘘をつくと葉が揺れてわかってしまうためです。

ぎらのん星は、のんきに研究を続ける人たちが住んでいる
星です。



数学博士

なお、学者は手袋と靴を履いている場合が多いようです。それは蓄積した知識が、手の先、足の先からこぼれてしまうという迷信があるためらしいです。また、帽子をかぶると、暖められた頭の中で知識の発酵が促進され、ひらめきを得やすくなるという迷信のを信じている人も少なくないようです。



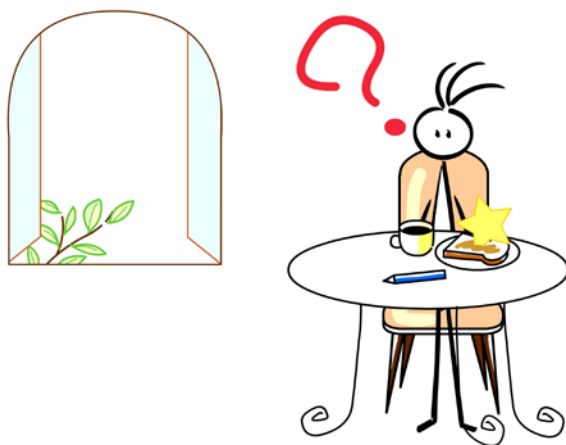
秘密の相談

天文博士と数学博士が作ったスターディスクは、無事に「ぷらぷら星」にたどり着き、大気圏突入後7つに分かれて飛び散りました。そのうちの 하나가、スパくんの家の窓に飛び込み、なんと朝食のパンに刺さりました。



蓮の葉の上の恋人たち

きらんの星の画像は自動投影され、スパくんはそれを見ることは見たのですが、意味が分からず、その後、すぐに、窓からボールが飛び込んできたこともあり、お隣のスパパさんの息子のシアノ君の、最新型のオモチャなんだろうと勘違いをし、ボールと一緒にシアノ君にあげてしまいました。シアノ君も、なんだかわからなかったのですが、かたちが変わっていたので、とりあえず宝物にしようと、引き出しの奥の秘密の場所にしまい込んでしまいました。



きらのもん星からのスターディスクの謎
が解明されるには、まだしばらくかかり
そうです。

きらのおん星通信

えぐち みのり

絵とことば 江口 真代

Copyright Art Farm Cieloni
無断転用・転写を禁じます.

<http://www.cieloni.com>
info@cieloni.com